

各 位

会 社 名 株式会社エノモト
代表者名 代表取締役社長 榎本 正昭
(JASDAQ・コード6928)
問合せ先
役職・氏名 専務取締役管理本部長 山崎 宏行
電 話 0554-62-5111

事業構造改革の実施に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 1 月 31 日開催の取締役会において、下記のとおり事業構造改革に関する基本方針について決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 改革の目的

当社が属する電子部品業界は、新興諸国の台頭により価格競争の激化、顧客の内製化等により厳しい事業環境となっております。特に国内においては、顧客の生産及び調達の海外シフトにより市場規模の縮小が進んでおり、受注量の確保が困難な状況となっております。

このような状況下、当社は業績回復と成長軌道への回帰を早期に実現するため、抜本的な事業構造改革が必要であると判断し、以下のような事業構造改革に関する基本方針を立て、収益力の向上と次世代基盤の構築を柱にした施策を実施することといたしました。

2. 改革の内容

(1) 既存事業の再構築

製品ライフサイクルの短期化、成熟化の進む市場での競争力を強化するため、生産拠点の統廃合、人員削減、業務の再構築等を早期に実施し、景気変動や市況変化に影響されない安定した収益基盤を構築します。

① 生産拠点の統廃合

分散している生産機能を集約し、人材や設備、ノウハウ等を有効に活用することにより、生産体制の最適化を図ります。まずは、国内においてコネクタ用部品を生産する工場を現在の 3 工場から 2 工場に集約するため、下田工場を閉鎖いたします。

1) 閉鎖する工場の概要

- a. 所在地：静岡県下田市加増野字大古隅 12-1
- b. 事業内容：コネクタ用部品および金型用部品の製造
- c. 敷地面積：4,850 m²

2) 閉鎖の日程 (予定)

平成 26 年 3 月 31 日

② 人員削減

経営の効率化に向けた人材の再配置を図るとともに早期退職優遇制度による人員削減を実施

します。人員削減の規模につきましては、80名を想定しております。

③ 業務の再構築

社内の全ての業務をゼロベースで抜本的に見直し、QCDの強化と効率的な業務体質の構築を図るとともに、事業環境の変化に即応できる戦略的組織の構築を図ります。

(2) 新たな事業の開拓

将来の市場ニーズを探求し、既存の技術が応用可能な市場への参入と新たに必要とされる技術の確立を推進し、次世代の事業基盤の構築を図ります。

3. 業績に与える影響

今回の事業構造改革の実施により発生する設備の撤去費用及び割増退職金等の費用は、平成26年3月期決算において特別損失として計上する予定ですが、現時点では未定のため、業績への影響につきましては確定した段階で速やかにお知らせいたします。

以上